

いwasaki 明子の議会報告



第2回定例会ダイジェスト

今議会では、使途が決まっている国からの補助金を活用した補正予算案が、多数提出され可決されました。

ひとり親家庭の自立支援として、資格を取るための入学準備金及び就職準備金を貸し付ける議案や、保育士等の処遇改善を図るため、民間保育施設に対し、宿舍借り上げ費用を助成する議案については評価しました。

しかし、ビデオカメラを設置する保育施設に助成する議案では、市の保育行政に対する理念に疑問を感じ、会派を代表して渡辺忍が議案質疑を行い、最

終日の討論で考えを述べました(下の記事参照)。また、今回は請願2件、陳情2件が市民から提出されました。

そのうち教育未来委員会で審議された「小中学校の老朽校舎改修、トイレ改善とともにすべての教室にエアコンの設置計画を立てること」を求める請願、「公民館への指定管理者制度の導入について(素案)」に関する陳情の2件について市民ネットワークは賛成しましたが、継続審査を求める委員が多く、結論は次の委員会に持ち越しとなりました。

一般質問

災害時、弱者に ならないために

千葉市は、今後30年以内に震度6弱以上の地震がくる確率が85%とされています。4月に起こった熊本地震では、女性、妊産婦、乳幼児の母親や高齢者、障がい者、ペットを飼っている人などが困難に直面しました。このように、災害時に特に困ると想定される人(いわゆる災害弱者)への支援体制を整備することが必須です。



千葉市の新たな取り組みには、
①拠点福祉避難所(注)の開設
訓練を、植草学園短期大学との共同研究事業で行った

②県助産師会と協定を結び、保健師と同様、妊産婦や乳幼児のいる家庭へ巡回指導等を行う体制を整えた
などがあります。

さらに、市民が自分でできる事として、
・乳幼児向けの飲食品を備蓄する
・高齢者や障害者は発災時に助けを求める人を決める
・災害時にペットを迷子にしないよう備える

など、普段から準備すべき事を、市から当事者にきちんと伝えれば、災害弱者を減らすことになり。また、阪神淡路大震災以降、避難所での性犯罪がなくなりません。被害者本人からはなかなか言い出しにくいことなので、避難所運営には女性の視点を取り入れること、相談体制の充実を求めました。



制服が原因で 学校に行けない?

(注)拠点福祉避難所
高齢者や障がい者が指定避難所で生活しにくい場合に移動する施設

今、「制服が買えず入学式に参加できない」「戸籍上女性でも女子の制服を着たくない」「子どもたちがいます。この問題を解決するには、「制服や体操服の値段が高いこと」「デザインが男女別であること」を改善していくことが必要です。

経済的支援の制度としては、新中1生の保護者には就学援助制度が、また、新高1生の保護者には千葉県社会福祉協議会の就学支度費等があると、なるべく早い時期に伝え、必要な家庭に支援が行き届くようにする必要があります。



また、入学や卒業などにかかるお金を計画的に貯められるように

渡辺忍市議会議員報告



ビデオカメラで事故は防げるのか?

全国の保育園等での死亡事故が年間10件を超えるとのことから、お昼寝、外遊びなどの事故防止や万一事故があった場合の事後検証を目的としてビデオカメラ導入に補助をする議案が提出されました。国からの使途が決まっている補助金を活用した補正予算の議案であり賛成はしましたが、市の保育行政に対する理念には疑問を感じる部分もありました。

ビデオ導入が期待しているような事故防止の効果があるのか疑問です。その上、防犯目的では設置ができません。本来、事故防止など安全管理に大切なのは、信頼関係を築くためのコミュニケーションであり、安易なビデオカメラ導入が保育現場への過度の監視となり、保育士が委縮するなど、働きづらさに繋がりがねないのではという心配もあります。

保護者から画像を閲覧したいという申し出ができる可能性もあり、大人目線ではなく、子どもが安心して生活できる保育環境であるために、現場の意見を取り入れ、慎重な運用を行う必要があると指摘しました。



公民館への指定管理者導入は慎重に!

教育未来委員会で、「公民館への指定管理者制度導入は慎重に」という趣旨の陳情が審議されました。指定管理者制度にはメリット・デメリットがあるといわれる中、教育委員会の考える素案について市民が十分理解しないまま、拙速に導入するべきではないと考え、陳情に賛成しました。しかし、今回は賛否の結論を出さない会派もあり、採決の結果、継続審査となりました。

教育長から「今回が新たなスタート。今後公民館のあり方についてしっかり議論したい」との発言もありました。



という理由で学校に行けない生徒が出ないように強く求めました。